

たからもの ぼくたちの宝物



小笠原村立母島小中学校

令和2年11月10日

第1・4・6学年 学芸会だより

学芸会おつかれさま号

はいびすかす開花

10月31日(土)の学芸会。小学校1・4・6年生の劇団「はいびすかす」による『ぼくたちの宝物』が上演されました。劇の出来栄は、これまでの中で最高。15人全員が全力で表現をし、100点満点以上のものを作り上げることができました。まさに劇団名の通り、本番で開花させることができた子供たちです。劇が終わった後の子供たちの顔からは、安心感や達成感があふれていて、とても輝いて見えました。

解団式をしました

11月4日(水)に、劇団「はいびすかす」は解団式を行いました。この約1ヶ月の間、学芸会本番に向けてチームで力を合わせて協力してきましたが、本番の大成功を終え、ついに解散のときが来ました。練習や本番を振り返り、子供たちと話をしました。「最初はできなかったことが、だんだんできてきてよかった。」「失敗したけど、それでもいい劇になった。」「お客さんが笑ってくれてよかった。」「自分のめあて通り、声を出せた。」など、子供たちからたくさんの感想が出ました。



また、子供たちが記入した振り返りカードには次のようなことが書かれていました。

「台詞や歌の練習をがんばりました。」「歌で最初の文字と最後の文字をはっきり言うのを上手に言えてうれしかったです。」「本番を終えて、頑張ってきたことが発揮できたと思いました。」「いつもより緊張したけれど無事に終わってよかったです。」
「今まで頑張ってきた成果を発揮できていました。」

この約1ヶ月の中で、子供たちは大きく成長し、そのことを自覚することもできたようです。子供たちはたくさんの方ができるようになりました。「1つのことを最後までやり遂げようと努力すること」「仲間と力を合わせて協力すること」「自分から進んで行動すること」「見ている、聞いている人に伝わるように表現すること」これらは、学芸会が終わってからも生きる力となり、様々な場面で生かすことができるでしょう。学芸会で培うことができた力を、今後もさらに伸ばし発揮してほしいことを、解団式で子供たちに伝えました。今回、全員が全力で力を合わせて学芸会を成し遂げられたこと、このことを自信につなげさせ、今後の成長も支援していきたいと思えます。

保護者の皆様には、ご家庭での声掛けをはじめ、衣装や水筒の準備等でお世話になりました。ご支援・ご協力ありがとうございました。

